

令和5年2月6日

自由民主党政務調査会
訪日外国人観光客コロナ対策PT
座長 鶴保 庸介 殿

公益社団法人日本医師会

松本吉郎
(公印省略)

訪日外国人に対する医療提供体制の充実に向けて
(短期滞在入国者への民間医療保険の加入の推進等)

昨年末より訪日外国人数が増加傾向にあり、政府観光局統計によれば、昨年12月の月間推計値は、1,370,000人とされ、新型コロナウイルス感染症感染拡大前の令和元年12月の2,526,000人に比べて半分強に回復しております。

こうした状況は、わが国の経済の活性化にとって大変力強いものでありますが、他方、国や地方自治体には、救急搬送困難事案が多い状況で、医療の負荷についても更なるご高配を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、訪日外国人の医療が課題となっていました。貴職をはじめ関係の先生方のご尽力により、ワンストップ窓口の設置等も進められていましたが、“with コロナ時代”では、たとえば医療費未払い問題の再燃も考えられます。医業経営の安定化、地域医療の持続のため、短期滞在入国者への民間医療保険の加入を推進するためのより積極的な施策の実施等、必要な措置をいっそう進めていただくようお願いいたします。